

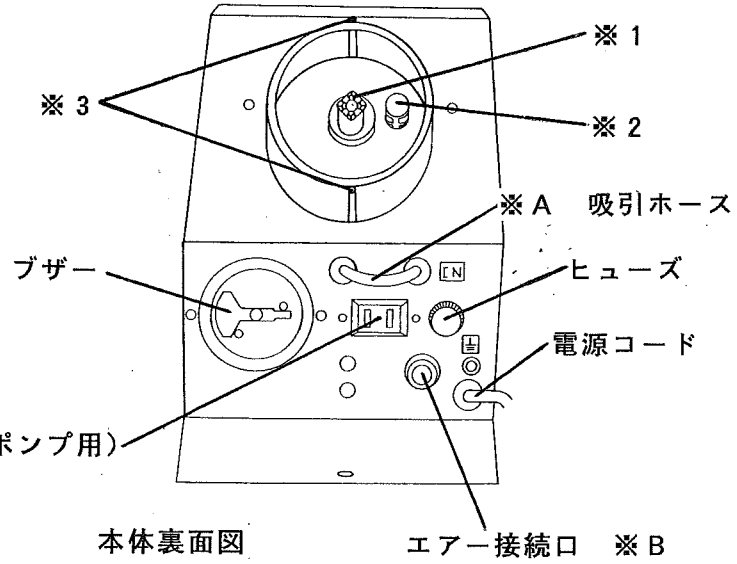
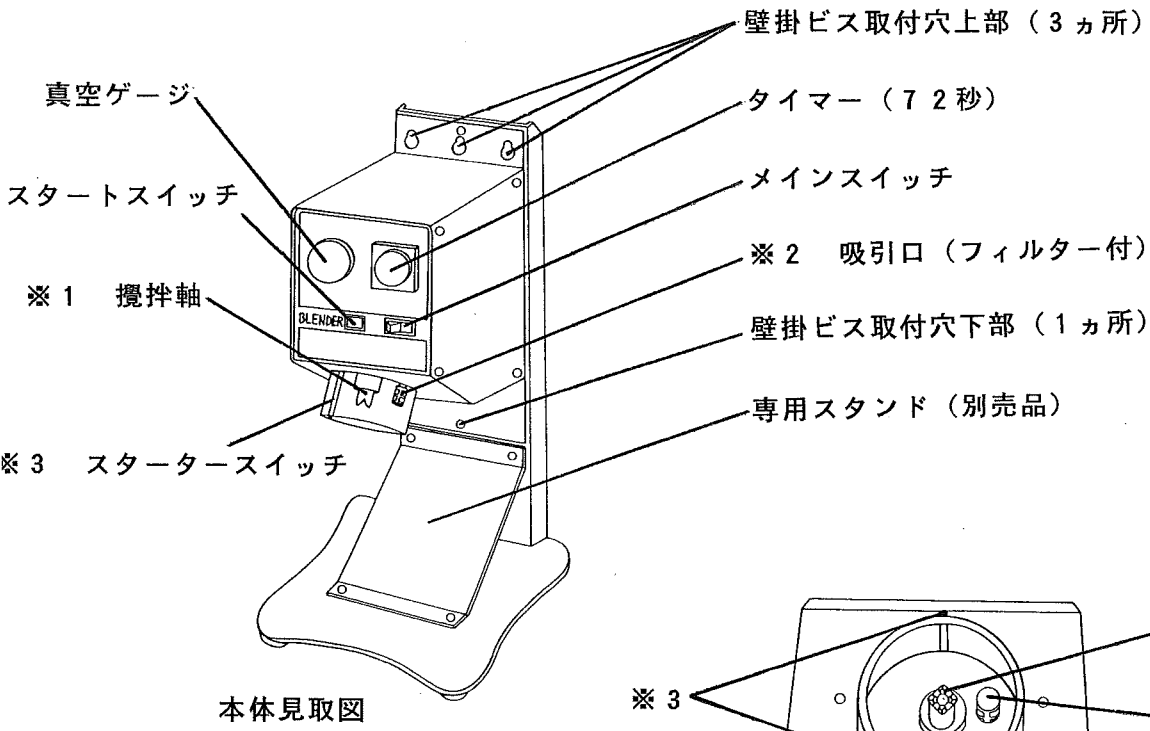
ブレンダー

目次

項目	頁
1. 各部の名称	2
2. 仕様・付属品	2
3. 設置及び接続	3
4. 使用方法	3
5. 真空ポンプを接続	3

この度、大榮歯科用真空攪拌機『ブレンダー』を御買上頂き、有り難うございます。
大榮では、一人でも多くのユーザー様に、ご愛用頂けるためにも、ご使用前に、必ず
本書『取扱説明書』をお読み頂けます様、お願い申し上げます。
ご使用上、何か不明な点やご質問等ありましたら、下記までご連絡下さい。
大榮歯科産業株式会社 本社 機械開発部 ☎06-6441-3332 (代)

1. 各部の名称



2. 仕様・付属品・別売品

仕様	付属品
電源 AC100V 1A	壁掛用部品一式 (カール・ネジ)
作動工率 0.35~0.78MPa (メガパスカル) (従来表示 3.5~8.0kg/cm ²)	エアー接続部品一式
本体重量 8kg	攪拌カップ (大・小)
本体寸法 W163 × H350 × D220mm	六角レンチ
吸引流量 47Nℓ/min	—別売品—
吸引力 700mmHg	専用スタンド 寸法 W240×H480×D240mm
攪拌カップ大 (重量.1kg) : 攪拌能力 90 ~ 600g	専用真空ポンプ (電磁弁セット付)
攪拌カップ小 (重量.450g) : 攪拌能力 50 ~ 350g	真空ポンプ接続電磁弁セット

3.

設置・接続

- ① 付属木ネジ（上部3カ所）を、5ミリ位残して壁に止める。
- ② ①で固定された木ネジに、本体を引っかけ、強固に固定する。
- ③ 本体下部（1カ所）を、残りの木ネジで固定する。
（注意）本体を固定する壁は、重量10kg以上に耐える事
特にボード板等の場合は、壁裏の棧に固定する事。
壁が、コンクリートの場合は、付属のカールを利用する事。
- ④ 本体裏面のエアー及び電源の接続をする。
（注意）圧力は、0.35～0.78MPa（メガパスカル）が必要。
- ⑤ 真空ポンプを利用する場合は、同頁の5.を参照。

4.

使用方法

- ① 本体メインスイッチを入れるとスイッチが照光し、攪拌準備状態になる。
- ② 攪拌カップに埋没材（石膏等）と練和水を入れ、スパチュラでなじませる。
（注意）必ずなじませる事。
本機は、攪拌ムラを少なくする為に、回転軸に角度を設けているが埋没材の量が多い時等に、攪拌ムラを生じる事があります。
本機の標準部品として攪拌カップは、大・小2種類あります。
攪拌能力 | 大カップ : 90 ~ 600g
(埋没材量) | 小カップ : 50 ~ 350g
- ③ 攪拌カップの蓋（羽根付）をする。
- ④ 埋没材の量が最大攪拌能力以下であれば、任意に本体の攪拌軸にセットする攪拌カップの回転軸と本体攪拌軸を合わせる。
（注意）カップ最大量の時は、攪拌カップの亚克力蓋に施された、穴（吸引穴）を本体正面方向にする。
他の方向では、カップから埋没材が、溢れ出る事がある。
- ⑤ ブザー音と共に、真空が開始され、数秒で攪拌カップが吸いつく。
（注意）攪拌カップのリング部や本体亚克力部に異物（埋没材等）が挟まると空気が抜け、吸いつかない場合があるので、清掃に心掛ける
- ⑥ 攪拌時間をセットすると、回転が始まる。
真空状態が落ちついて（700mmHgに達成）から回転を始める方が、埋没材の吸い込み（粉末状態の埋没材）を防ぐ事ができる。
- ⑦ 攪拌時間は、メーカー指示を基準に任意に決定する。
例：各種石膏・クリストバライト埋没材・・・・・・・・・・30秒
リン酸塩系埋没材・・・・・・・・・・45秒
（注意）必要以上の攪拌は、硬化時間が短くなる為、注意する事。
- ⑧ タイマーが『0』になると、攪拌は終了しブザーが知らせる。
ブザーの音量は、ブザーの蓋を開けると大きくなる。
- ⑨ メインスイッチを切ると、真空が解除され攪拌カップは、本体から離れる。
（注意）埋没材の量にもよるが、メインスイッチを切ると同時にカップが離れる場合があるので、必ず手をそえてメインスイッチを切る事。
- ⑩ 攪拌された埋没材を次工程（埋没）に移る。
- ⑪ 攪拌カップの羽根の交換や清掃には、付属の六角レンチで、カップ上部のスクリーナットをゆるめ、ピンを抜き取ると、亚克力蓋からはずせます。

5.

真空を接続

- ① 本体裏面図を参考に、吸引ホース（※A部分）をカットする。
- ② カットされた吸引側（『IN』）ホースと真空ポンプとを接続する。
- ③ 真空ポンプの電源を、本体外部コンセント（※B）に接続する。
（注意）通常真空ポンプ、スイッチを切った時、すぐに大気圧に戻りません
手持ちの真空ポンプを使用する時は、電磁弁セットを使用
電磁弁セットの電源は、真空ポンプに並列に配線する事。
- ④ 本体接続のエアーは、接続しなくて良い。
- ⑤ 使用方法は、上記方法（エアーサクシオン方式）と同じで、攪拌カップを、本体にセットすると、真空ポンプが作動し、攪拌カップが吸いつく。